

■科目名			
特別活動の指導法 Method of Teaching Extracurricular Activities			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職理解科目	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	5期		前後
■担当教員			
久保田 治助, 池田 俊彦, 永里 智広, 田村 敏郎			
■代表教員名及び連絡先等			
代表教員：久保田治助（社会教育学） kubota@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
事前にメール等で相談をすること 代表教員：久保田：kubota@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
<p>特別活動は、自主的実践的な態度や社会性の育成などを目指し、全ての教師がかかわる教育活動である。本講義では、特別活動の学校教育における意義や役割について考察し、教師としての基礎的な力量を養う。</p> <p>特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。</p>			
■授業の到達目標及びテーマ			
特別活動の意義、目標及び内容を理解し、特別活動の指導の在り方を理解する。			
■授業計画			
第1回：オリエンテーション（久保田） 第2回：学習指導要領における特別活動の目標（久保田） 第3回：学習指導要領における特別活動の内容（久保田） 第4回：教育課程における特別活動の位置付け（久保田） 第5回：教育課程における特別活動と各教科等との関連（久保田） 第6回：学級活動・ホームルーム活動の特質（その1）（田村） 第7回：学級活動・ホームルーム活動の特質（その2）（久保田） 第8回：児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質（その1）（田村） 第9回：児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質（その2）（久保田） 第10回：教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方と評価（永里） 第11回：特別活動における取組の評価・改善活動の重要性（永里） 第12回：中学校・高等学校の部活動の在り方（久保田） 第13回：合意形成に向けた話し合い活動や意思決定につながる指導（久保田） 第14回：合意形成に向けた集団活動の意義や指導の在り方（池田） 第15回：特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携（池田） 定期試験			
*授業は基本的に遠隔（ZOOMもしくはオンデマンド）で行うが、対面で行う場合には事前に通知する			
■授業外学習（予習・復習）			
【予習】 事前に、教科書の指定の章を読んでおくこと。			
【復習】 適宜、コメントシートなどがある場合は、記入し提出すること。			
■受講要件			
【5期・前期】中等教育コースのみ受講可：H31入以降（実技系・特支の中学校基礎免を含む）			
【6期・後期】初等教育コースのみ受講可：H31入以降（実技系・特支の小学校基礎免を含む）			
*遠隔で授業を行うために、機材等の準備が必須である			
■成績の評価基準			
定期試験（80％）、			

授業後に提出する小レポート（20%）

*出席は、3分の2以上で授業の出席要件を満たす

■教科書・参考書

【教科書】*必須

吉田武男監修、吉田武男・京免徹雄編著『特別活動』（MINERVAはじめて学ぶ教職14）、ミネルヴァ書房、2020年

【参考書】

授業中に適宜資料を配布する。

■教師としての資質能力に関するチェック項目

1. 教職の意義（使命感・倫理観等）に関する理解

【A教職の理解】教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている

2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解

【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

5. 協働実践力

【B連携協働力、自己改善力の育成】集団の中で、役割に応じてリーダーシップを発揮したり、他者と連携・協力して活動したりできる

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

7. コミュニケーション力

【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる

8. 自己改善力

【B連携協働力、自己改善力の育成】自らの課題を発見し、解決に向けた具体的な方法を企画・実践するとともに、結果を省察して改善につなげることができる

15. 授業展開力及び授業評価力

【D構想力、展開力、評価力等】基礎的な教育技術や教育評価について理解し、それを活かした授業実践と、授業の評価・改善を行うことができる

19. 道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に関する理解

【E教科領域等の内容理解】道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教科以外の教育活動について、その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；

プレゼンテーション；

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

2

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他